

## 第 7 期計画の主な課題について

### 目次

1	ふれあいがあり人にやさしいまち	2
(1)	高齢者の生きがい対策の推進・社会参加の促進	2
(2)	高齢者の就労促進	2
(3)	高齢者の見守り・地域支え合いの推進	2
(4)	認知症高齢者の支援体制の整備	2
2	元気がでる健康なまち	3
(1)	介護予防・日常生活支援総合事業の推進	3
(2)	在宅医療・介護の連携	3
3	安全で安心なまち	3
(1)	住み慣れた在宅生活への支援	3
(2)	安心・安全な住環境の整備	3

# 1 ふれあいがあり人にやさしいまち

## (1) 高齢者の生きがい対策の推進・社会参加の促進

### 【主な課題】

- 高齢者数の増加に伴い、福祉カードや敬老金等の交付・支給数が増加している一方、生きがい、健康づくりのための多様な社会活動を行う老人クラブ会員数は、ここ3年度は減少傾向です。
- 高齢者自身が社会役割を持ち、生活支援サービスの担い手として活動できる場が必要です。

## (2) 高齢者の就労促進

### 【主な課題】

- 高齢者数の増加に対して、シルバー人材センターの会員数は、ここ3年度はおおむね横ばいです。

## (3) 高齢者の見守り・地域支え合いの推進

### 【主な課題】

- 本市は、65歳以上人口に占める一人暮らしの割合が県内市の中で比較的高い水準（上から4番目）であり、高齢者数は今後増加傾向にあるため、見守りや支え合いの取り組みを推進する必要があります。
- 高齢者虐待の相談・通報件数は、ここ3年はおおむね横ばいであるものの、高齢化のさらなる進行に伴い、今後は増加が見込まれることから、虐待防止や早期対応に向けた取り組みが求められます。

## (4) 認知症高齢者の支援体制の整備

### 【主な課題】

- 高齢化のさらなる進行に伴い、今後も認知症高齢者数の増加が見込まれることから、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療や介護の連携、地域住民による見守りなど、認知症高齢者とその家族への総合的な支援の取り組みを推進する必要があります。
- 75歳以上の後期高齢者数の増加に伴い、今後も認知症高齢者数の増加が見込まれることから認知症予防に対する施策にも重点を置く必要があります。

## 2 元気がでる健康なまち

### (1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

#### 【主な課題】

- 県内市の中で比較的高い要介護認定率であるとともに、要支援者の増加傾向を踏まえつつ、平成 29 年度からの当事業の実施状況を踏まえて、介護予防に向けた効果的な事業展開を検討・実施する必要があるほか、介護予防・生活支援サービスをはじめ、多様な主体の参入を促進し、ニーズに応じた多様なサービス提供を促進する必要があります。

### (2) 在宅医療・介護の連携

#### 【主な課題】

- 高齢化のさらなる進行に伴い、医療と介護の両方を必要とする人の増加を見据えて、医療・介護の総合的かつ円滑な提供のために、関係者による一層の連携を図る必要があります。

## 3 安全で安心なまち

### (1) 住み慣れた在宅生活への支援

#### 【主な課題】

- 地域包括支援センターにおける相談件数の増加や複合的な課題を抱えた相談の増加を踏まえて、多機関の連携強化による総合相談・権利擁護への対応を図る必要があります。
- 家族介護者の離職への対策を含めて、家族介護者の交流・リフレッシュの取り組みの充実が求められます。
- 一人暮らし高齢者の増加傾向を踏まえつつ、家事援助や移動支援をはじめ、各種生活支援サービスの充実を図る必要があります。

### (2) 安心・安全な住環境の整備

#### 【主な課題】

- 住み慣れた在宅での生活の継続を支援するため、住宅のバリアフリー化等支援する取り組みが求められます。